

GREEN7号 (5/14~5/19配達)

「有機静岡深むし初摘み新茶 100g」放射能測定結果のお知らせ

いつもグリーンコープ商品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

GREEN6号、7号で新茶としてご案内した商品については、今年初めて摘んだ茶葉から作るため、カタログ作成時にはまだ製品ができていませんでしたので、一旦、生葉で測定した上で商品のお届け時に改めて製品（茶葉と抽出液）の放射能測定結果を商品と一緒にお知らせすることとしていました。5月2日、3日に放射能測定を行いましたので、以下のとおりお知らせいたします。

（茶葉（製品）での測定結果） ※Bq（ベクレル）

- ヨウ素 → 検出せず（検出限界値1.46Bq/kg）
 - セシウム134 → 4.98Bq/kg（検出限界値2.30Bq/kg）
 - セシウム137 → 7.39Bq/kg（検出限界値2.30Bq/kg）
- 合計 12.37Bq/kg

（抽出液での測定結果）

- ヨウ素 → 検出せず（検出限界値0.80Bq/kg）
- セシウム134 → 検出せず（検出限界値0.91Bq/kg）
- セシウム137 → 検出せず（検出限界値1.05Bq/kg）

茶葉（製品）での測定結果がグリーンコープの自主基準（10Bq/kg）を超えているため、グリーンコープ連合理事会で検討させていただき、商品をお届けすることを確認しました。なお、抽出液では「検出せず」という測定結果でした。お茶を放射能測定する場合の国の試験法通知では、「荒茶又は製茶に含まれる放射能セシウム濃度を、試験法通知で示した方法により測定した結果、200Bq/kg以下の場合、飲用に供する状態で10Bq/kgを下回ることが確認できるものであるため、試験法通知に基づく飲用に供する状態での検査を不要とする」とされており、200Bq/kgを超えた場合は抽出液で検査し、「抽出液で10Bq/kg未満」が国の基準となっています。このように国の試験法通知では茶葉で200Bq/kg未満の場合、抽出液での検査は行わないとされていますが、グリーンコープでは茶葉（製品）の状態でも放射能測定を行い、抽出液と茶葉両方の測定結果をお届けするとともに、グリーンコープホームページにて公開しています。

2012年5月14日
グリーンコープ連合